

男子単決勝は、森蘭政崇と丹羽孝希の明大同士となり、丹羽が3ゲーム先取するも、森蘭が挽回勝利をおさめ、初優勝を決めた。女子単は、丹羽美里(淑徳大)と小道野結(早大)が決勝で対戦。丹羽が、回転量の多い威力ある両ハンド攻撃で攻め、ゲームカウント4対1で勝利。3連覇を達成した。男子複は、平野友樹・有延大夢(明大)、女子複は、小道野結・高橋結女(早大)が優勝した。

個人の部

Women's Singles



第3位 高橋真梨子(同志社大)
バック面異質ラバーを巧みに使い、フォアハンド攻撃で得点を重ねた



第4位 山本怜(中大)
ラリー戦に強く、しっかりと回転をかける両ハンド攻撃をみせた



準優勝 小道野結(早大)
コース取りが良く、ピッチも速く、好調なプレーをみせた。決勝も接戦となるが、惜しくも敗戦

威力があり、回転量の多い両ハンド攻撃で3連覇を達成。「最終日の1試合目は調子が良くなく、試合をしていくに連れて調子が出てきました。頭を使って試合ができるようになってきていると思います」と丹羽



女子シングルス優勝 丹羽美里(淑徳大)



第8位 市川志穂(日大)
丁寧なカットと積極的な攻撃を見せ、地元・愛知で活躍



第7位 高橋美帆(淑徳大)
しっかりと回転をかけた両ハンドで、ミスが少なく勝ち上がった



第6位 鈴木李茄(専大)
安定した両ハンド攻撃をみせ、2年連続でベスト8入り



第5位 佐藤優衣(淑徳大)
何度も劣勢な場面をむかえるが、攻める姿勢を崩さず逆転した

Doubles

女子ダブルス優勝 小道野結・高橋結女(早大)



コンビネーションが良く、的確にコースを突いて嬉しい初優勝



準優勝 長尾美佳・竹本光里(神戸松蔭女子学院大)
粘り強く、ミスの少ないプレーで決勝に進出



3位 丹羽美里・佐藤優衣(淑徳大)
フットワークが良く、強打が要所で決まり活躍した



4位 池田真由佳・向山佳那(関西学院大)
チャンスメイクが上手く、要所で攻撃が決まった

第81回全日本大学総合選手権大会 Men's Singles

第81回全日本大学総合選手権大会(個人の部)が、10月23~26日まで、愛知県体育館で行われた。



第3位 吉田雅己(愛工大)
堅実でファイト溢れるプレーを見せるも、丹羽に持ち味を封じられてしまった



第4位 町飛鳥(明大)
回転量の多い両ハンド攻撃を軸に勝ち上がるも、森蘭の勢いは止められなかった



準優勝 丹羽孝希(明大)

サーブの変化、素早い動き、打球点の早さは今大会でもずば抜けていた。決勝戦では、王手をかけるもまさかの失速。悔しい敗戦となった

決勝戦。0-3と劣勢の展開の中、1本1本必死にボールに食らいつき、フルゲームに持ち込む。最終ゲームもリードを許すが逆転し、初優勝を決めた。「リードされる苦しい展開の中、やることは決まっていたので最後までそれをプレーできたので優勝することが出来ました」と森蘭



男子シングルス優勝 森蘭政崇(明大)



第8位 山本勝也(早大)
岡田(明大)に逆転勝利するなど、前陣での攻撃が冴えた



第7位 神巧也(明大)
ラリー戦に強く、回転量の多い攻撃が光った



第6位 大島祐哉(早大)
軽快なフットワークを活かしたフォアハンドドライブがよかった



第5位 吉村真晴(愛工大)
柔らかいフォームで、相手に来るコースを予測させないプレーは見事



3位 大野泰士・大坂亮輔(中大)
コンビネーションが良く、打点の早い攻撃がさえていた



4位 滝澤拓真・坪金衛(明大)
派手さはないが、ラリー戦に強く、粘り強さもみせた



準優勝 吉村真晴・藤村友也(愛工大)
レシーブから積極的に攻撃を仕掛けたが明大ペアに及ばず



男子ダブルス優勝 平野友樹・有延大夢(明大)
平野のフォアハンド、有延のバックハンド攻撃が噛み合って優勝